

# 学部・研究科 データ

各学部・研究科の特色と実績

04

# 人文社会科学部

## 特色あるプログラム

課題解決能力とグローバルな視点を養うグローバル・地域人材育成プログラム

交換留学や課題解決型国際研修(英語・ドイツ語・フランス語・中国語)等の海外の研修等で獲得したグローバルな視点や行動力を生かし、個々の学生の所属する課程に応じた専門性に基づく、社会的・文化的、あるいは環境問題にかかわる地域の諸問題の解決に貢献する能力と意欲の育成を目指します。

## 実績

令和元年4月、学部の附属施設「宮沢賢治いわて学センター」が設立されました。岩手大学宮沢賢治センター時代から積み重ねられてきた宮沢賢治についての研究・教育・普及活動を継承しつつ、その成果をグローバルに発信しています。令和3年度は、『賢治学+(プラス)』を刊行しました。また、「盛岡藩の言論と出版」をテーマに、第2回シンポジウムをオンライン形式で実施しました。

地域理解・地域づくり支援を通じた教育活動の一環として、水産事業者等の協力を得ながら、沿岸地域の水揚げされる魚種の変化、未利用魚の調理レシピの開発、盛岡エリアの鮮魚店のレポートの作成等を通じて、地域活性化に関する体験的な学習を行いました。

### 学生数

学部	人数
人文社会科学部	900

### 教員数

学部	人数
人文社会科学部	63



### 取得可能な資格

教育職員免許状

< 人間文化課程 >

< 地域政策課程 >

中学校: 国語、社会、英語

高等学校: 公民

高等学校: 国語、地理歴史、

公民、英語

学芸員資格 日本語教員 社会調査士

認定心理士 公認スポーツ指導者

環境再生医 初級 自然再生士補

公認心理師(学部および大学院の科目を修得することで、公認心理師試験の受験資格を得ることができます)

### 財務情報

単位: 千円

区分	金額	区分	金額	区分	金額
教育経費	45,928	運営費交付金収益	315,286	土地	0
研究経費	36,563	授業料収益	467,400	建物	429,253
教育研究支援経費	3,133	入学料収益	62,293	構築物	19,512
受託研究費	3,345	検定料収益	12,799	その他	21,379
共同研究費	2,422	受託研究収益	3,345		
受託事業費等	0	共同研究収益	2,422		
人件費	758,987	受託事業等収益	0		
一般管理費	19,596	寄附金収益	3,350		
雑損	0	補助金等収益	0		
		雑益	493		
		その他	8,046		
業務費用 計	869,978	業務収益 計	875,439	帰属資産 計	470,144

# 教育学部・教育学研究科

## 特色あるプログラム

震災の教訓を生かした防災教育・復興教育

令和元年度からの教員免許取得における「学校安全」の必修化にあたり東日本大震災の被災地を抱える地域の大学・学部として、被災地の復興を学ぶ「いわての復興教育」、防災教育を含む総合的な「学校安全」に関する必修科目「学校安全学と防災教育」を全国に先駆けて開講しました。

## 実績

「附属教育実践・学校安全学研究開発センター」を中心に、児童・生徒の命と安全の確保を目的とした総合的で実践的な「学校安全学」の構築に取り組んでおり、平成 30 年度から毎年「学校安全学シンポジウム」を開催しています。令和3年度は「安全に関する資質・能力」を主題として、とりわけ自他の生命尊重を基盤として安全に関する資質・能力の向上に資する学校教育の役割について参加者とともに議論しました。

「新学習指導要領」で示された「主体的・対話的で深い学び」を小・中・高校の各教育において実現すべく、令和2年度から、いわて学びの改革研究事業として岩手県教育委員会等との連携の下、附属校園と共同で ICT 技術を活用した新たな教育方法の開発に取り組んでおり、11月にはオンラインセミナーを開催しました。

岩手県教育委員会と連携し、大学、教育機関、学校関係者を対象とした [NITS・岩手大学教職大学院コラボ研修]「いわて教育のワールドカフェ:新学習指導要領の学習評価を考える」を、11月に本学北桐ホールで開催しました。

学生数

学部・研究科	人数
教育学部	710
教育学研究科	33
計	743

教員数

学部・研究科	人数
教育学部	66
教育学研究科	11
計	77

教員免許状取得状況(R3年度)

区分	人数
幼稚園教諭	33
小学校教諭	154
中学校教諭	203
高等学校教諭	115
特別支援学校教諭	58
計(延べ数)	563

財務情報

単位:千円

区分	金額	区分	金額	区分	金額
教育経費	76,112	運営費交付金収益	506,115	土地	0
研究経費	32,004	授業料収益	381,351	建物	1,058,146
教育研究支援経費	1,941	入学料収益	51,324	構築物	22,148
受託研究費	0	検定料収益	5,792	その他	58,276
共同研究費	92	受託研究収益	0		
受託事業費等	24,945	共同研究収益	92		
人件費	827,150	受託事業等収益	25,012		
一般管理費	12,667	寄附金収益	15,610		
雑損	45	補助金等収益	1,139		
		雑益	348		
		その他	10,408		
業務費用 計	974,959	業務収益 計	997,193	帰属資産 計	1,138,571

# 理工学部・理工学研究科

## 特色あるプログラム

より高度な専門性や国際性、課題解決能力を身につける3つの特別プログラム

理工学部の通常プログラムに加え、リーダーとして活躍できる科学者・技術者を育てる「先端理工学特別プログラム」、高度な専門技術を身につけた技術者を育てる「地域創生特別プログラム ものづくり系」、東日本大震災からの復興や今後想定される災害への備えに貢献できる高い専門性をもった技術者を育てる「地域創生特別プログラム 防災・まちづくり系」の3つのプログラムを設けています。

## 実績

企業や自治体等からの受託・共同研究の受入が、前年度(令和2年度)に比べ、件数にして約10%、金額としては約30%増加しました。受託研究に限って見ると、件数と金額いずれも40%以上増加しました。

理工学部学生が多く参加する学内カンパニーでは14の団体(内新規2団体)が活動を行い、「農革」は「アグリテック甲子園2021」で水耕栽培キットとセンサ、アプリ等を組合せた、これまでにはない生物育成とITを掛け合わせたプロダクトの中学校教育現場への提供を提案し、「野村アグリプランニング&アドバイザー賞」を受賞しました。また、「岩手大学クラフトビール部」は、「第17回キャンパスベンチャーグランプリ東北」において、廃棄されるモルト粕を再利用したぬか床の開発、商品化とともにビール麦国産化による国産の新ブランドビール「エシカルビール」の開発・ブランド化を提案し、「東北経済産業局長賞」を受賞しました。

### 学生数

学部・研究科	人数
理工学部	1,913
旧課程(工学部)	19
理工学研究科(博士)	39
旧課程(工学研究科)	23
計	1,994

### 卒業・修了者の進路状況

学部・研究科	進学率	就職率	県内就職率
理工学部	56.4%	96.3%	29.9%
旧課程(工学部)	0.0%	28.6%	0.0%
旧課程 (工学研究科博士前期)	0.0%	100.0%	0.0%
旧課程 (工学研究科博士後期)	0.0%	100.0%	57.1%

### 教員数

学部・研究科	人数
理工学部・理工学研究科	133

### 財務情報

単位:千円

区分	金額	区分	金額	区分	金額
教育経費	147,838	運営費交付金収益	638,182	土地	0
研究経費	255,129	授業料収益	1,013,014	建物	2,289,255
教育研究支援経費	6,995	入学料収益	135,557	構築物	66,045
受託研究費	125,087	検定料収益	23,434	その他	266,594
共同研究費	132,541	受託研究収益	110,068		
受託事業費等	3,616	共同研究収益	132,300		
人件費	1,405,268	受託事業等収益	20,097		
一般管理費	98,816	寄附金収益	61,841		
財務費用	15	補助金等収益	7,381		
雑損	10	雑益	30		
		その他	70,692		
業務費用 計	2,175,321	業務収益 計	2,212,600	帰属資産 計	2,621,894

# 農学部

## 特色あるプログラム

実践的な感覚と経験を身につける充実した実習環境

広大な敷地を持つ附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センターでは、実際の現場に近い農場、牧場、演習林での実学教育を受けることができます。また、釜石キャンパスには三陸水産研究センターがあり、三陸の豊富な漁業資源に恵まれた環境での学修・研究が可能です。

## 実績

農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター御明神演習林・滝沢演習林は、文部科学大臣から「冷温帯林における自然資源管理教育・災害復興再生教育・森林林業技術教育共同利用拠点」として認定され、豊かな森林資源や多様な教育技能が他大学の学生や教員に対して提供されています。

令和3年度は、一部の公開森林実習をオンラインで実施したり、時期ごとに新型コロナウイルス感染症拡大防止対応に合わせてプログラム内容を変更しました。そのほか、宿泊施設内の使用人数を制限し、屋外での活動において器具の消毒やソーシャルディスタンスの確保を徹底するなどの対応を行いながら、オーダーメイド型授業としては延べ275名の全国の学生に利用してもらいました。

「いわてアグリフロンティアスクール運営協議会」(岩手県・JA いわてグループと共同設置)では、岩手県内の農業者等を対象に先進的な農業経営者を養成する「いわてアグリフロンティアスクール」を開講し、修了者に「アグリ管理士」の資格を授与しています。

令和3年度は29名にアグリ管理士の資格を授与しました。これまでに輩出したアグリ管理士は合計353名となり、県内各地で地域農業をけん引する存在として活躍しています。

### 学生数

学部	人数
農学部	1,036

### 教員数

学部	人数
農学部	99

### 卒業・修了者の進路状況

学部・研究科	進学率	就職率	県内就職率
農学部	31.8%	95.6%	19.8%

### 財務情報

単位:千円

区分	金額	区分	金額	区分	金額
教育経費	224,949	運営費交付金収益	1,096,997	土地	2,073,670
研究経費	223,350	授業料収益	516,040	建物	1,010,844
教育研究支援経費	2,582	入学生料収益	72,276	構築物	204,866
受託研究費	75,038	検定料収益	11,107	その他	261,176
共同研究費	29,362	受託研究収益	73,600		
受託事業費等	1,581	共同研究収益	30,450		
人件費	1,369,849	受託事業等収益	1,581		
一般管理費	65,138	寄附金収益	43,518		
財務費用	51	補助金等収益	44,044		
雑損	2	雑益	61,602		
		その他	63,791		
業務費用 計	1,991,906	業務収益 計	2,015,012	帰属資産 計	3,550,558

# 総合科学研究科

## 特色あるプログラム

文理に囚われない分野横断型のカリキュラム

自然科学・人文科学・社会科学等、それぞれの切り口から総合的に物事を捉えるための授業科目を研究科共通科目に導入するとともに、他分野の教員を含めた複数指導体制で研究指導を行っています。研究科共通科目では、3つの柱である「震災復興・地域創生」、「イノベーション」、「グローバル」をカテゴリーとして設け、研究科全学生(理系・文系を問わず)に各カテゴリーから1科目以上の履修を必修化し、専門深化に加え、俯瞰的視野を養うための教育を行っています。また、社会人が学びやすい環境と機能強化のために、地域創生専攻防災・まちづくりプログラムにおいて社会人1年制コースを設置しています。

## 実績

令和元年度に実施した総合科学研究科運営アドバイザーボードで聴取した産業界や行政等のステークホルダーからの意見をもとに、研究分野の異なる大学院学生同士が相互交流し、研究の視野を広げ、さらにイノベーション創出のきっかけとなるイベントとして、大学院生による研究成果発表会を開催しました。

地域創生専攻所属学生が第13回学生金型グランプリで2部門の金賞を受賞、総合文化化学専攻所属学生が日本語教育学会2021年度秋季大会で若手優秀発表賞受賞、理工学専攻所属学生が岩手県学生デジコン2021で最優秀賞受賞、農学専攻所属学生がAAAS Annual Meeting 2021(アメリカ科学振興協会学術集会2021)でポスター発表2位及び3位を受賞する等、各分野において優秀な結果を収めました。

### 学生数

研究科	人数
総合科学研究科	583

### 修了者の進路状況

研究科	進学率	就職率	県内就職率
総合科学研究科	5.6%	97.6%	14.6%

### 財務情報

単位:千円

区分	金額	区分	金額	区分	金額
教育経費	83,630	運営費交付金収益	94,004	土地	0
研究経費	94	授業料収益	287,984	建物	0
教育研究支援経費	0	入学料収益	89,929	構築物	0
受託研究費	0	検定料収益	12,169	その他	30,425
共同研究費	0	受託研究収益	0		
受託事業費等	0	共同研究収益	0		
人件費	3,751	受託事業等収益	0		
一般管理費	0	寄附金収益	0		
雑損		補助金等収益	0		
		雑益	0		
		その他	158		
<b>業務費用 計</b>	<b>87,476</b>	<b>業務収益 計</b>	<b>484,247</b>	<b>帰属資産 計</b>	<b>30,425</b>



# 獣医学研究科

## 特色あるプログラム

首都圏と東北両大学の立地を生かした学外演習

岩手大学と東京農工大学両大学の立地環境を活かして国や地方の研究機関と連携して研修を行い、実際の現場における業務、研究、診療活動等の経験を通じ、臨床現場の現状と問題点、研究に関する知識、技術を学び、現場での業務に参加することで現場におけるコミュニケーション力、技術、思考能力の研鑽を目指します。

獣医学的アプローチによる動物介在療法分野の研究

岩手大学獣医学研究科においては、被災地支援の一環として“被災者の心の癒し”に対する動物医療の提供を行ってきました。それらを進展させるために獣医学的見地から動物介在療法の研究を実施し、当該分野の普及、啓発を行っています。

## 実績

共同獣医学専攻における初めての修了生(令和4年3月に5名、令和4年9月に4名)に学位を授与することができました。うち社会人大学院生が多くを占め、社会人に対する学び直し機関としての大学院の位置付けに大きく貢献しています。

国際学会誌等論文発表を応援するため、論文掲載費を補助しています。また、大学院生に国際学会への積極的な参加を促すため、国際学会発表奨励費を計上し、スペイン等で開催された国際学会にて研究成果を発表しました。

新型コロナウイルス流行による移動制限や感染防止等に対応するため、学生の利便性および教育の質向上のために、講義のオンライン化および講義ビデオ教材、英語教材の作成に取り組みました。

学生数

研究科	人数
獣医学研究科	17



財務情報

単位:千円

区分	金額	区分	金額	区分	金額
教育経費	18,857	運営費交付金収益	45,529	土地	0
研究経費	25,988	授業料収益	3,371	建物	0
教育研究支援経費	128	入学料収益	846	構築物	0
受託研究費	0	検定料収益	120	その他	70,350
共同研究費	0	受託研究収益	0		
受託事業費等	0	共同研究収益	0		
人件費	1,374	受託事業等収益	0		
一般管理費	0	寄附金収益	0		
雑損	12	補助金等収益	0		
		雑益	0		
		その他	16,301		
業務費用 計	46,361	業務収益 計	66,168	帰属資産 計	70,350

# 連合農学研究科

## 特色あるプログラム

最先端の研究現場で研究者としての能力を身につける

連合農学研究科では、他機関の研究者や教員との意見交換や成果発表会での議論を通じて、課題探究能力、創造性豊かな研究能力、問題解決能力、表現能力等を身に付けることを目的として「研究インターンシップ」を授業科目として開講しています。

## 実績

各界で活躍している修了生などを招き、設立 30 周年記念シンポジウムを対面形式とオンライン配信を併用し、開催しました。設立以降、約 30 年間で 1,000 名超の博士を社会に輩出し、現在、多くの修了者が国内外の研究分野・教育分野等で活躍しています。

学生から要望の多い「英語論文の書き方セミナー」を令和 3 年 8 月に 3 日間開催し、協定校である福建農林大学との共同研究の可能性を探るため、月例セミナーを令和 3 年 4 月から令和 3 年 12 月にかけて 9 回開催しました。どちらのセミナーにも多くの学生が参加しました。また、セミナーには学生のみならず教員も数多く参加し、有意義なセミナーとなりました。

### 学生数

研究科	人数
連合農学研究科	92

### 修了者の進路状況

研究科	進学率	就職率	県内就職率
連合農学研究科	-	92.3%	16.7%

### 教員数

研究科	人数
専任教員	1



### 財務情報

単位: 千円

区分	金額	区分	金額	区分	金額
教育経費	21,788	運営費交付金収益	56,017	土地	0
研究経費	6,862	授業料収益	35,990	建物	61,527
教育研究支援経費	0	入学料収益	3,102	構築物	0
受託研究費	0	検定料収益	330	その他	4,580
共同研究費	0	受託研究収益	0		
受託事業費等	1,705	共同研究収益	0		
人件費	40,395	受託事業等収益	1,705		
一般管理費	7,653	寄附金収益	475		
雑損	0	補助金等収益	0		
		雑益	150		
		その他	706		
業務費用 計	78,405	業務収益 計	98,476	帰属資産 計	66,107